

右及申(通) 納候也

湖詠

全木場の兄弟諸君！

必當習本家共の意の手せハキリと俺達の目の前に迫つて来た
見よ、利の自名大あきら兄弟を街頭に退出させ車もなく全木場の陽々に問題
へ迫らない所はいい人た一体俺達はどうなるべくぞまつて兄弟と撞うれて殺さ
れるからそれとも力のせうつて行くめこそ戦ひどろかの問題な
諸君！ それには俺達の若い孝之水のみだ。兄弟の全力權力實力と持つてかゝって
来るのだ。俺達が何と持て抗戦オトムだ。兄弟！ 俺達には困難の武事があり人た
と人な間題として終局俺達自身の問題なりのを致す。如き固々固然の下にはあらゆる機会
力は征服とれるうだ。唯日トつづき切の大崩壊の問題など子だ二割五分位下に
絶対反対で勇張んケトハシトハ玉水ハフルイ上の太難がは工場解散とぬかし俺達
の要求を諦ニシカレとしこれら人々の水は畢竟謝罪のへばが伴東畜生の勝手がや
り方ちやない人だ。然ニ工場主業本計画的全木場の俺達とおとおとおとおとおとおと
とたくらんで蒲団つてゐる製紙機会の方針は大をからこの問題は全木場の
くね辛か実行しようとしてわら人た三水火化連連りだよつて居らんか兄弟！
湖詠の問題は俺達各自の問題だ。固強の力を湖詠の兄弟と勝たせると共に各自之身
の露水を濁かう！

特大奥材②竹田の従弟自諸君

湖詠のあやかは工場解散をして星にて悉く荷の全郡新宿の三工場でへらせて居る人
事務の手先たつて似え殺すことてあり又諸君等が御奉仕局自分自身の
減なつた。湖詠の定理を勝たせろ諸君等即ち俺達労働者の勝利をため漸次起つ
て帝國に湖詠の本をケットバして志後の開港に入らかむと俺達労働者の義務があ